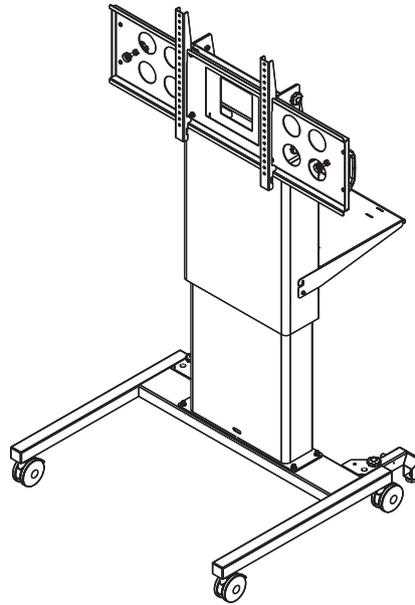


# 取扱説明書

## FLスタンド(電動昇降タイプ)

FFP-EM-STAND80



### ⊗ 警告

ディスプレイを本製品に取り付け、取り外しする際は、必ず2人以上(52V以上は4人以上)で作業を行ってください。指示人数未満での作業は、本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

### 目次

■ 安全上のご注意/警告・注意	1
■ 製品紹介・梱包部品	2
■ 「レッグ」の後ろ脚を広げる	3
■ 「レッグ」に「支柱」を取り付ける	3
■ 「支柱」に「モニター側金具」を取り付ける	4
■ 「モニターブラケット」をディスプレイに取り付ける	5
■ ディスプレイを「モニター側金具」に取り付ける	6
■ ディスプレイ角度の微調整を行う(任意)	7
■ 「アジャスター」を使用してディスプレイの振れを抑える(任意)	7
■ 「棚板」を取り付ける	8
■ スタンドを昇降させる	9
■ スタンドの設置について	9



日本フォームサービス株式会社

T 2018.6.11 第2版

## お買い上げありがとうございました

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。お読みになった後は、いつでも取り出せる場所に大切に保管してください。また、本製品は生産より出荷に至るまで厳重に検査しておりますが、万一製品に破損またはご使用に支障をきたす場合は、誠に恐れ入りますが購入先または下記宛先までお問合せください。

日本フォームサービス株式会社 TEL：03-3636-0011 URL：http://www.forvice.co.jp Mail：info@forvice.co.jp

■お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次の表示で区分しています。

 <b>警告</b> この表示の欄は「死亡または重症を負うことが想定される危害の程度」です。	 <b>注意</b> この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。
--	---

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 この絵表示は、絶対にしてはいけない「禁止」内容です。	 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。	 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。

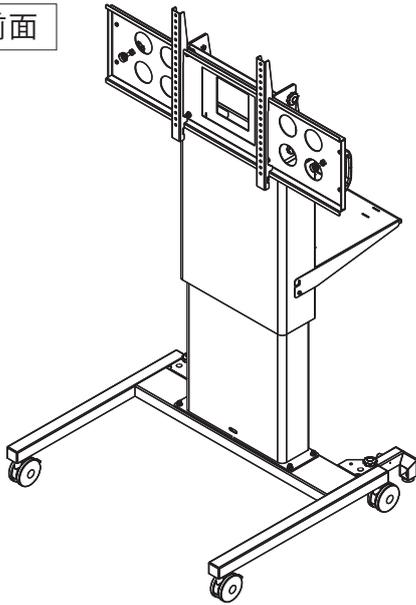
## 警告・注意

-  電動昇降機能は長い時間連続して作動させないでください。連続して1分間昇降させた際は、9分間休止させてください。
-  本製品は80kgまでのディスプレイを対象とした製品です。それ以外のディスプレイを取り付けると、ディスプレイの落下・破損など事故の原因となります。
-  ディスプレイを本製品に取り付け、取り外しする際は、必ず2人以上（52V以上は4人以上）で作業を行ってください。指示人数未満での作業は、本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  ディスプレイの設置後は、メンテナンス時以外にネジをゆるめたり、はずしたりしないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  ディスプレイが本体に干渉した状態での高さ調整は絶対におやめください。
-  壊れた部品を使用しないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。万一、部品が壊れた場合には販売店にご相談ください。
-  本製品の改造・変更は行わないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  転倒防止のため「レッグ」の後ろ脚を広げた状態でスタンドを組立・設置してください。後ろ脚を折りたたんだ状態で組立・設置すると、本製品の転倒などによる破損・けがの原因となります。
-  本製品を移動する際は、必ず高さを一番低くした状態で行ってください。
-  高さ調整の際は周囲の人や物に気を付けて行ってください。事故・けがの原因となります。
-  安全確保のため、ボルトやネジ類は所定の場所に確実に締め付けてください。
-  電源はAC100Vをご使用ください。

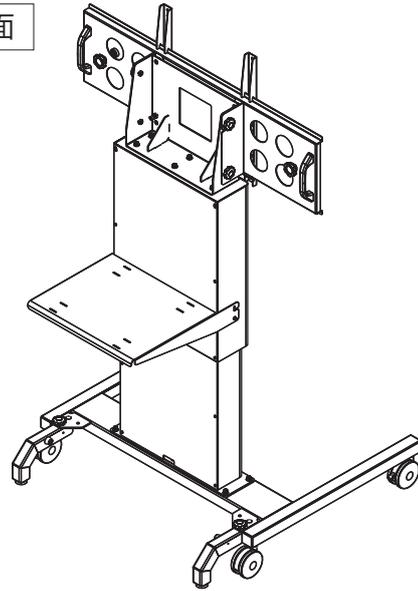
## ■ 製品紹介

### FLスタンド〈電動昇降タイプ〉

前面



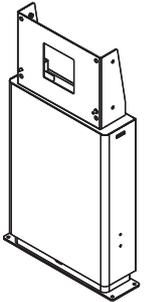
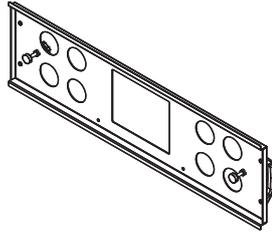
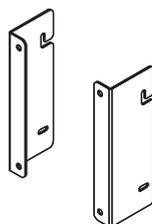
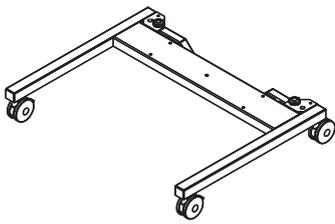
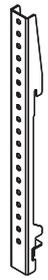
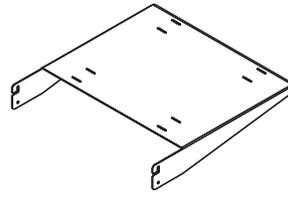
背面



型番	FFP-EM-STAND80
質量	約90kg
耐荷重	80.0kg

## ■ 梱包部品

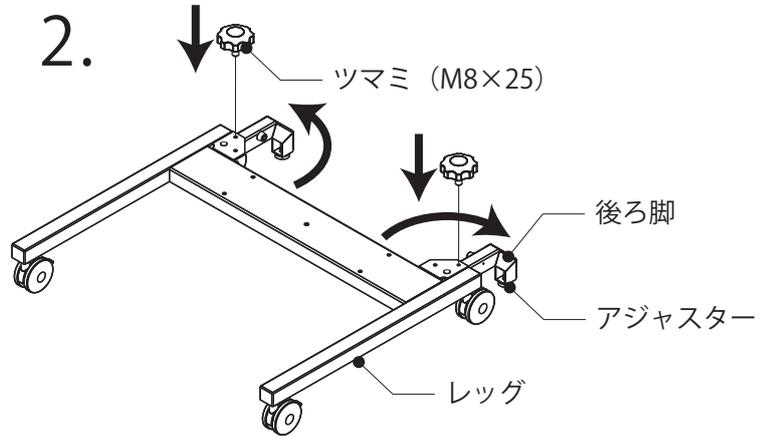
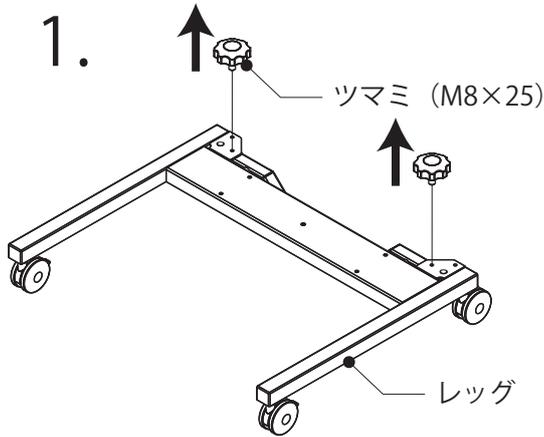
### FLスタンド〈電動昇降タイプ〉 梱包部品

 <p>支柱…1個</p>	 <p>モニター側金具…1個</p>	 <p>モニター側金具受け…左右各1個</p>	 <p>座金組込ネジ (M6×14) …4本 (M6×18) …4本 (M8×20) …4本</p>
 <p>レッグ…1個</p>	 <p>モニターブラケット…2個</p>	 <p>棚板…1個</p>	 <p>M6 ネジ取付用スペーサー…4個</p>
		 <p>取扱説明書…1部</p>	 <p>キャップボルト (M8×25) …5本 キャップボルト (M8×20) …4本 キャップボルト (M5×15) …4本</p>
			 <p>ツマミ (M8×25) …4本</p>  <p>六角レンチ (対辺 4mm) …1本 六角レンチ (対辺 6mm) …1本</p>

## ■「レッグ」の後ろ脚を広げる

組立中の転倒防止のため、折りたたまれている「レッグ」の後ろ脚を広げます。

1. 「レッグ」後部の「ツマミ (M8×25)」2個を取り外します。
2. 「レッグ」の後ろ脚を広げ、後ろ脚が固定されるように「ツマミ (M8×25)」2個を取り付けます。  
その次に、後ろ脚の「アジャスター」2箇所を床に接する位置まで調整します。



組立の際は、転倒防止のため「レッグ」の後ろ脚を広げた状態で作業を行ってください。後ろ脚を折りたたんだ状態で作業を行うと、本製品の転倒などによる破損・けがの原因となります。

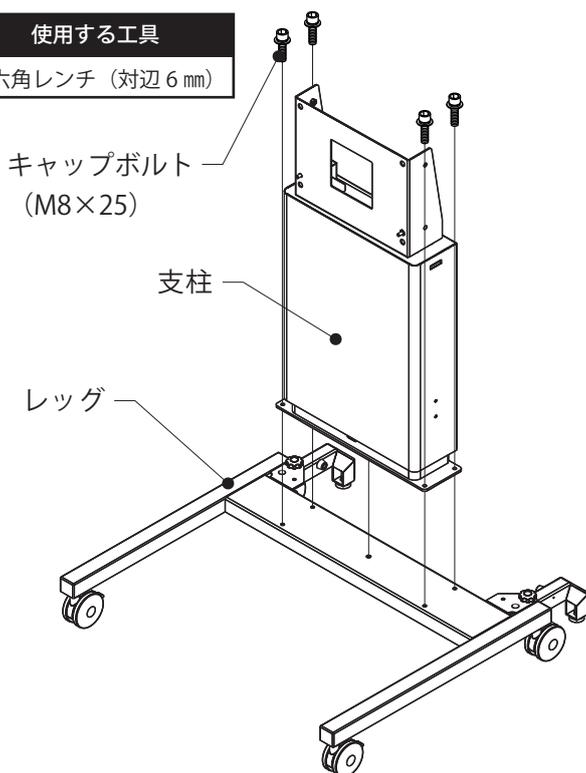
## ■「レッグ」に「支柱」を取り付ける

「キャップボルト (M8×25)」5本を使用して、「レッグ」に「支柱」を取り付けます。

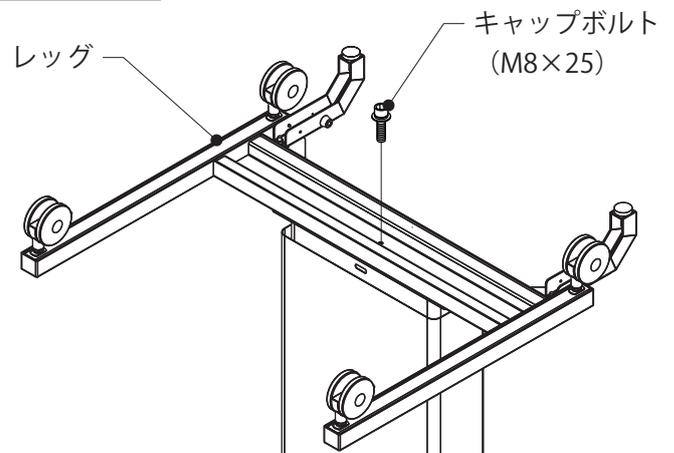
この際、先に上側の取付穴4箇所を仮止めした後、裏側の取付穴1箇所を取り付け、最後に取付穴5箇所すべてを本締めしてください。

### 使用する工具

六角レンチ (対辺 6 mm)



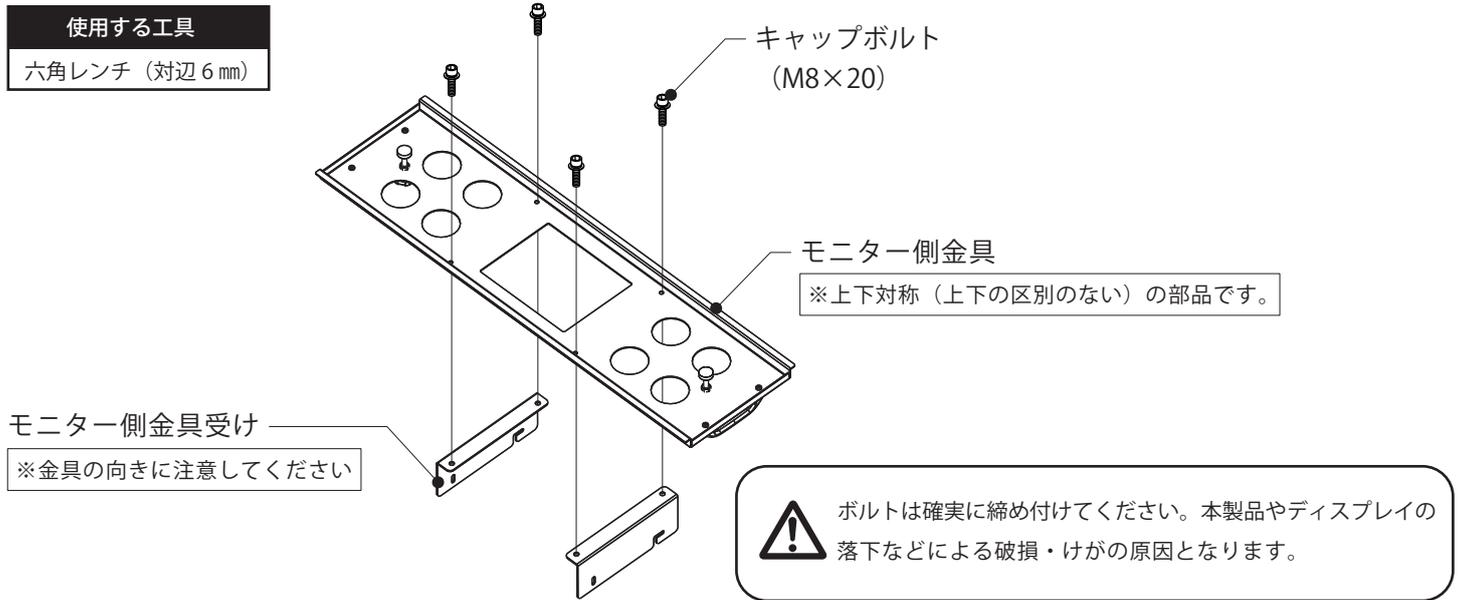
### レッグ裏側



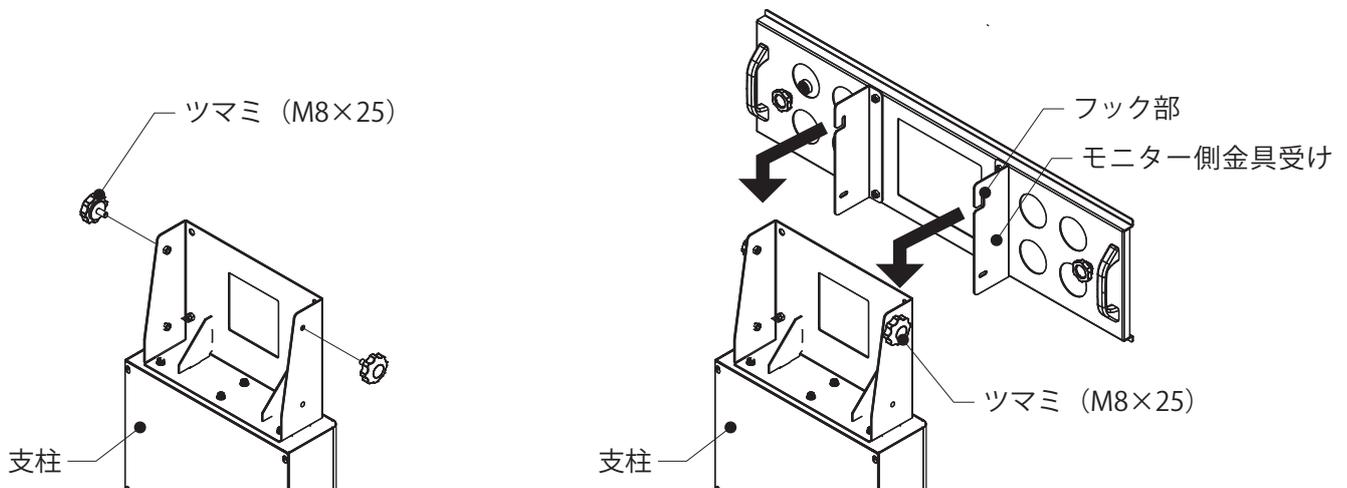
ボルトは確実に締め付けてください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

## ■ 「支柱」に「モニター側金具」を取り付ける

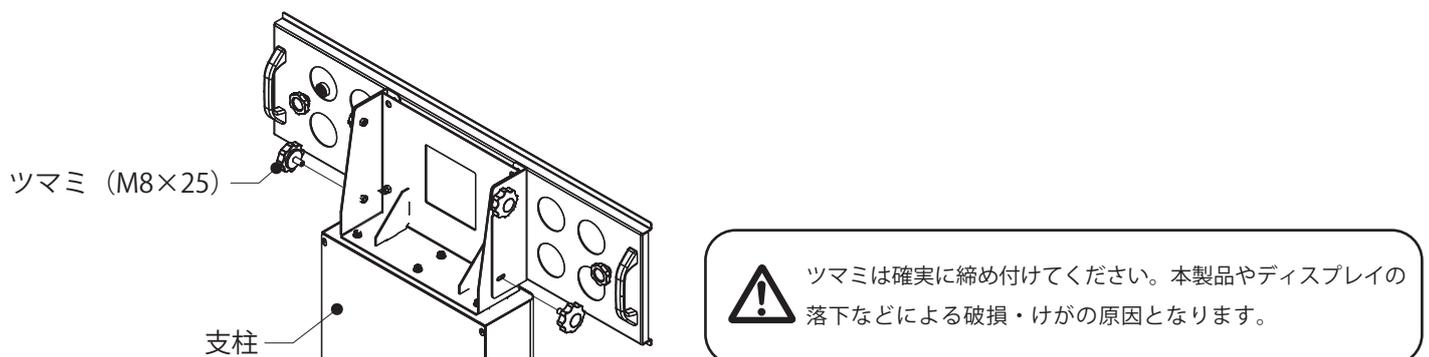
1. 「キャップボルト (M8×20)」4本を使用して、「モニター側金具」に「モニター側金具受け」左右各1個を取り付けます。



2. 「支柱」側面の取付穴に「ツマミ (M8×25)」2本を半分程度差込みます。  
その次に、「モニター側金具受け」のフック部を、差込んだ「ツマミ (M8×25)」に引っ掛けます。



3. 「支柱」側面の取付穴に「ツマミ (M8×25)」2本を差込み、4本すべてのツマミを締めてください。  
※角度調整方法は、P7「ディスプレイ角度の微調整を行う (任意)」を参照してください。



## ■ 「モニターブラケット」をディスプレイに取り付ける

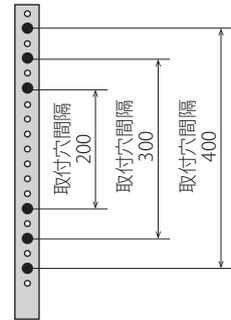
付属の「座金組込ネジ (M6×14 / M6×18 / M8×20)」の中から、ディスプレイ取付穴に合ったネジを選定し、「モニターブラケット」をディスプレイに取り付けてください。

「モニターブラケット」の取り付け位置は、右の図を参照してください。

※M6ネジ使用時のみ「M6ネジ取付用スペーサー」を使用してください。

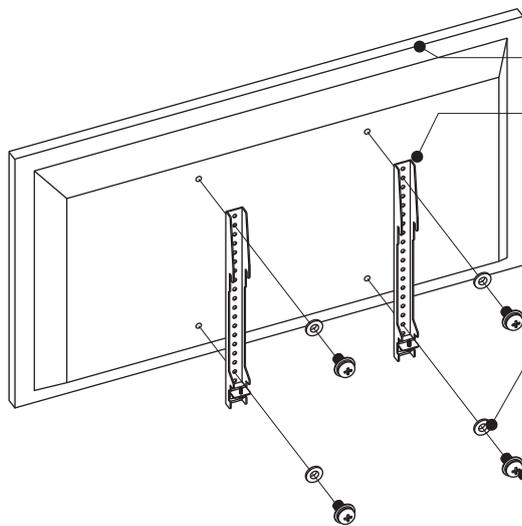
### 使用する工具

プラスドライバー (別売)



### 取付穴径がM6のディスプレイ

#### 【ヨコ設置の場合】



ディスプレイ  
モニターブラケット

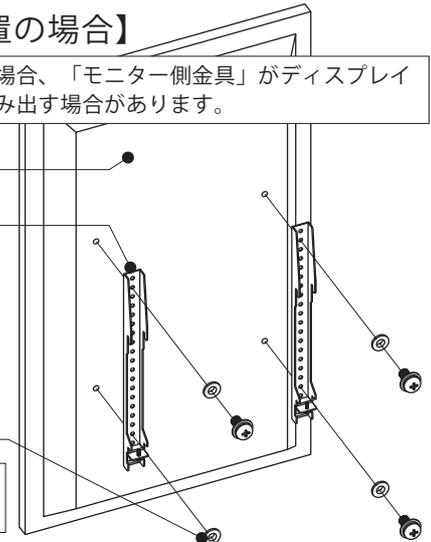
M6ネジ取付用スペーサー

※凸側がディスプレイに向くように取り付けて下さい。

座金組込ネジ (M6×14) または (M6×18)

#### 【タテ設置の場合】

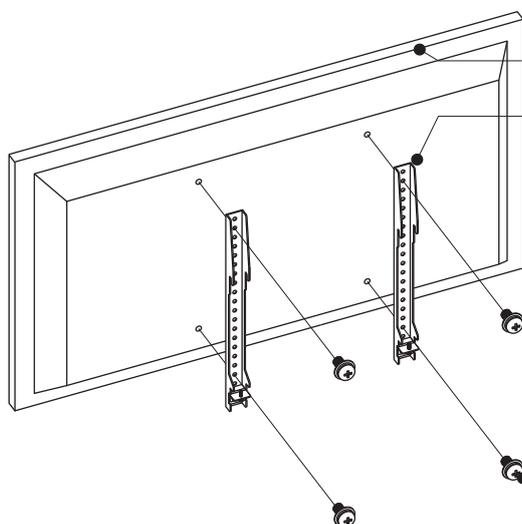
※タテ設置の場合、「モニター側金具」がディスプレイ背面からはみ出す場合があります。



※取付穴深さに合ったネジを選定してください。取付穴深さは、ディスプレイ取扱説明書またはメーカーホームページなどでご確認ください。

### 取付穴径がM8のディスプレイ

#### 【ヨコ設置の場合】

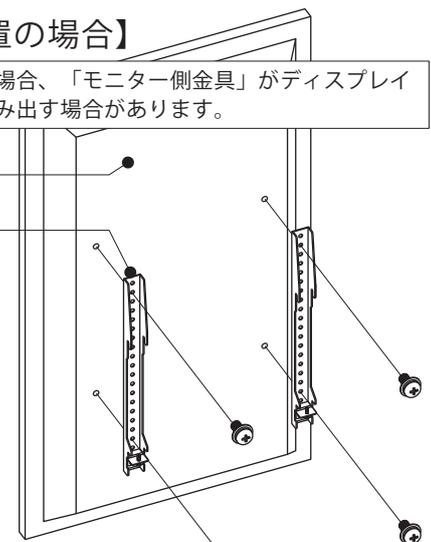


ディスプレイ  
モニターブラケット

座金組込ネジ (M8×20)

#### 【タテ設置の場合】

※タテ設置の場合、「モニター側金具」がディスプレイ背面からはみ出す場合があります。



取り付けの際は、取付穴深さをディスプレイ取扱説明書・メーカーホームページなどでご確認の上、深さに合ったネジを選定してください。



ネジは確実に締め付けてください。ディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

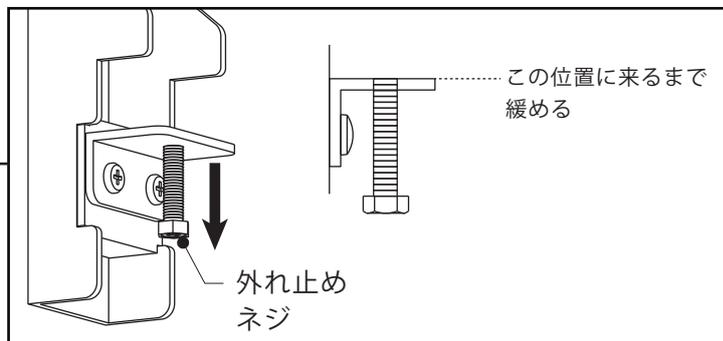
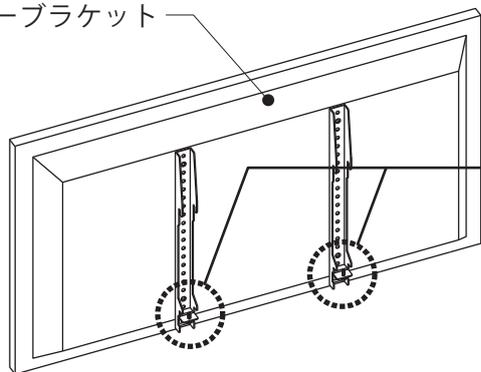
## ■ ディスプレイを「モニター側金具」に取り付ける

1. 「モニターブラケット」の「外れ止めネジ」を緩めてください。

使用する工具

プラスドライバー（別売）

モニターブラケット



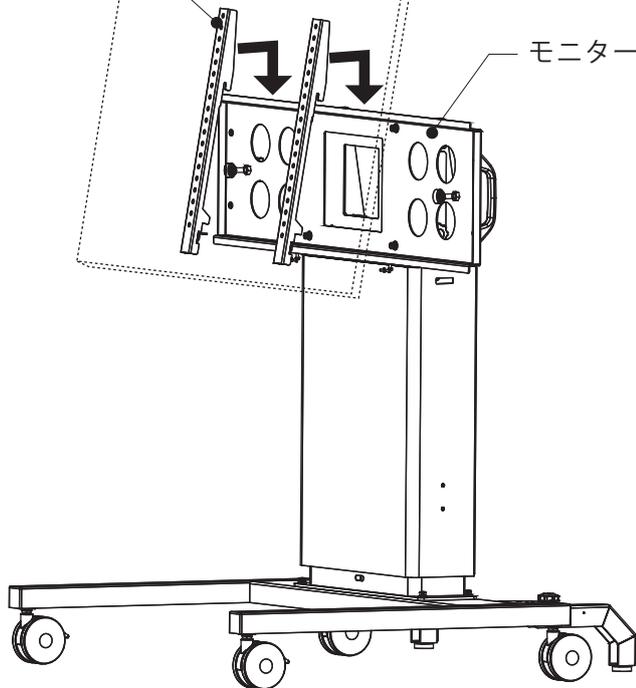
2. 「モニターブラケット」上部にあるツメを「モニター側金具」上部に引っ掛け、「モニターブラケット」の「外れ止めネジ」を「モニター側金具」に当たる位置まで締めてください。

使用する工具

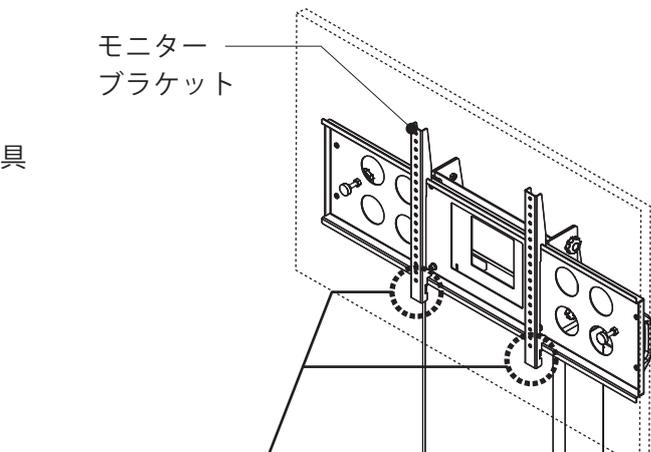
プラスドライバー（別売）

モニター  
ブラケット

モニター側金具



モニター  
ブラケット



「外れ止めネジ」が  
「モニター側金具」に  
当たる位置まで締める

外れ止め  
ネジ



ディスプレイを本製品に取り付け、取り外しする際は、必ず2人以上（52V以上は4人以上）で作業を行ってください。指示人数未満での作業は、本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

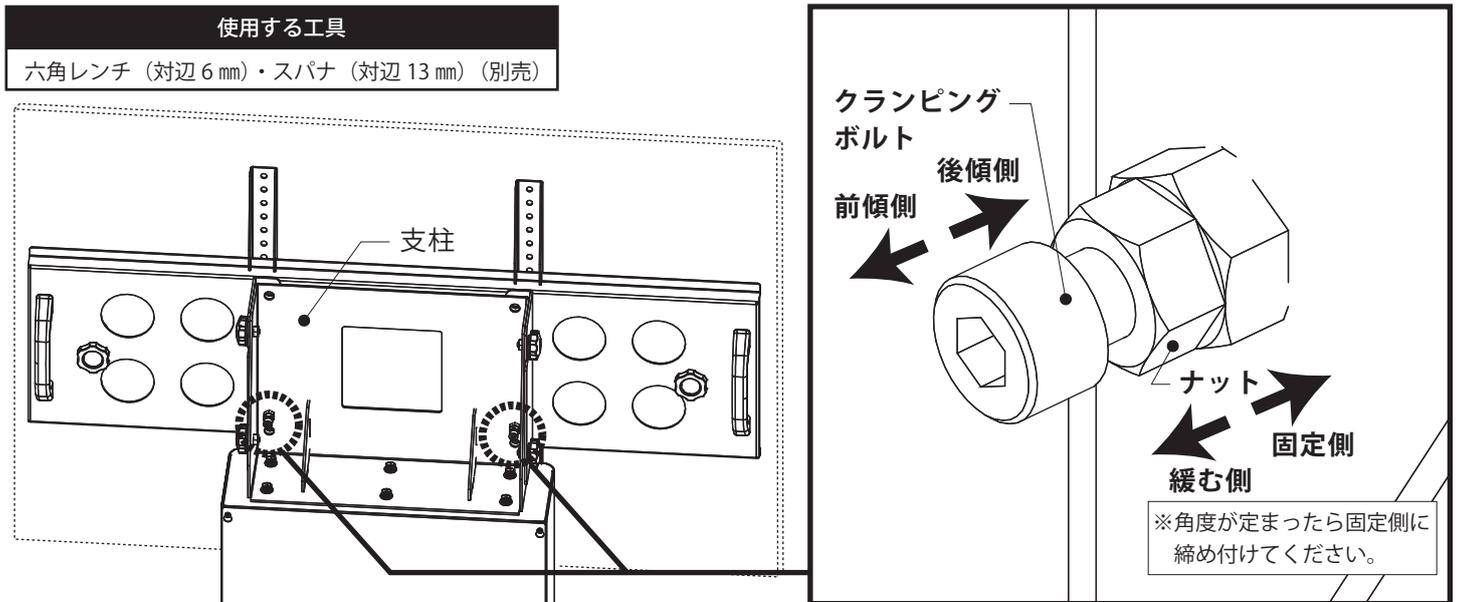
## ■ ディスプレイ角度の微調整を行う（任意）

「支柱」裏側の「クランピングボルト」2箇所を調整することで、ディスプレイの角度を0°～前後各2°の範囲で微調整できます。

※「モニター側金具受け」の「ツマミ（M8×25）」4本が本締めされている場合は若干緩めてから調整を行ってください。

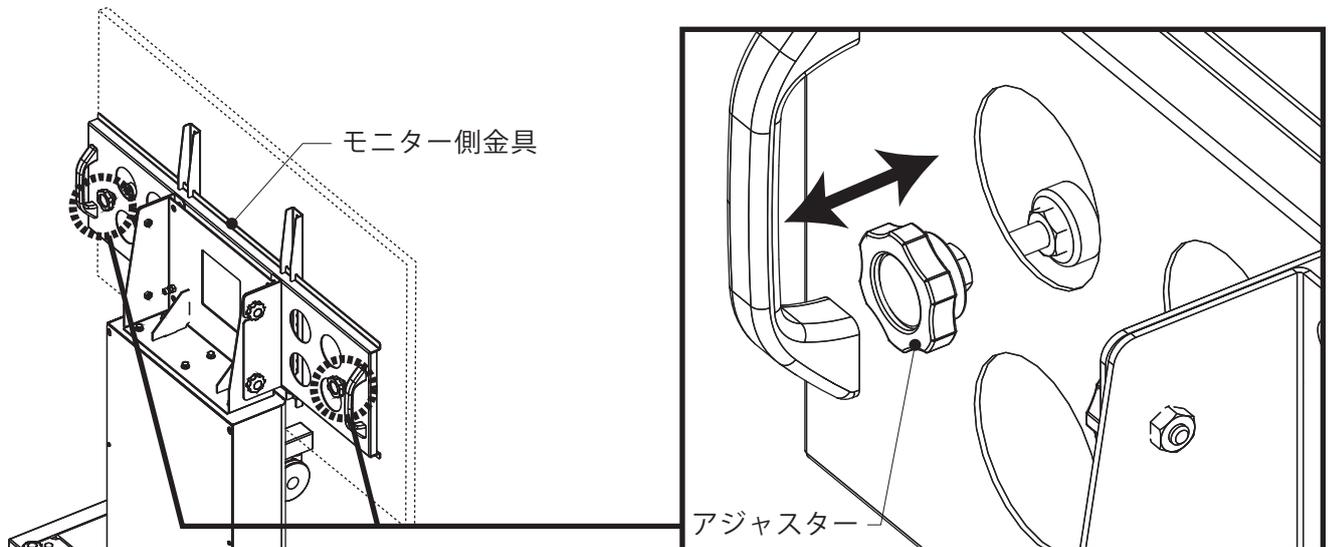
「クランピングボルト」の「ナット」を「スパナ（対辺13mm）（別売）」を用いて緩め、前側に傾ける場合は「六角レンチ（対辺6mm）」を用いて「クランピングボルト」を前傾側へ、後側に傾ける場合は「クランピングボルト」を後傾側へ回してください。

角度が定まったら「ナット」を固定側へ回し、「スパナ（対辺13mm）（別売）」を用いて締め付けてください。



## ■ 「アジャスター」を使用してディスプレイの振れを抑える（任意）

ディスプレイの振れを抑える場合は、「モニター側金具」の「アジャスター」2箇所をディスプレイ背面に接する位置まで締めてください。



ディスプレイの背面形状によってはアジャスターが使用できない場合があります。

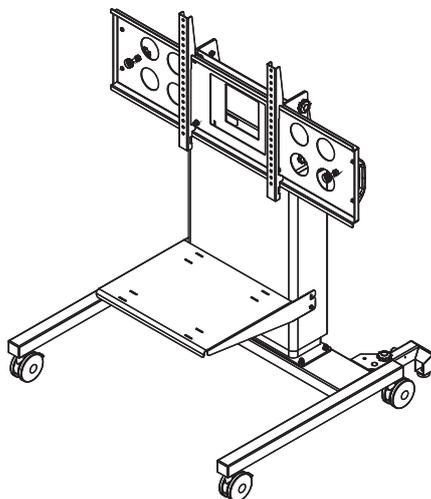


アジャスターは必要以上に締め付けしないでください。本製品やディスプレイの破損の原因となります。

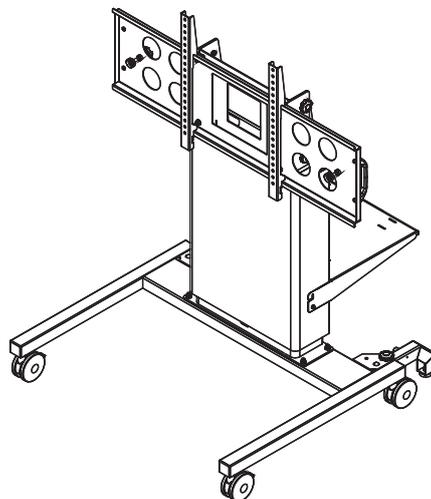
## ■ 「棚板」を取り付ける

「棚板」は、前面 / 背面どちら側にも取り付けが可能です。

前面取付イメージ



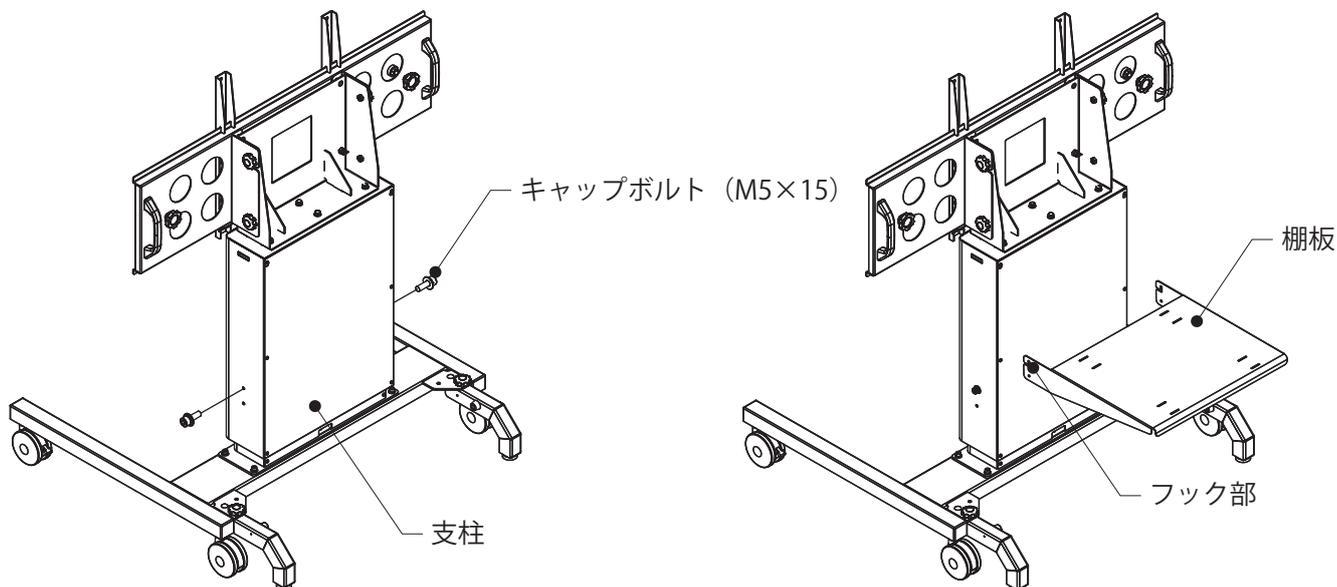
背面取付イメージ



1. 「支柱」側面の取付穴に「キャップボルト (M5×15)」2本を半分程度差込みます。

その次に、「棚板」のフック部を、差込んだ「キャップボルト (M5×15)」に引っ掛けます。

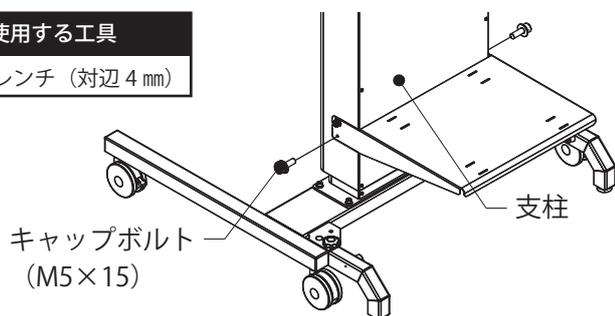
※下図は背面取り付けの際のイメージです。



2. 「支柱」側面の取付穴に「キャップボルト (M5×15)」2本を差込み、4本すべてのボルトを本締めします。

使用する工具

六角レンチ (対辺 4mm)



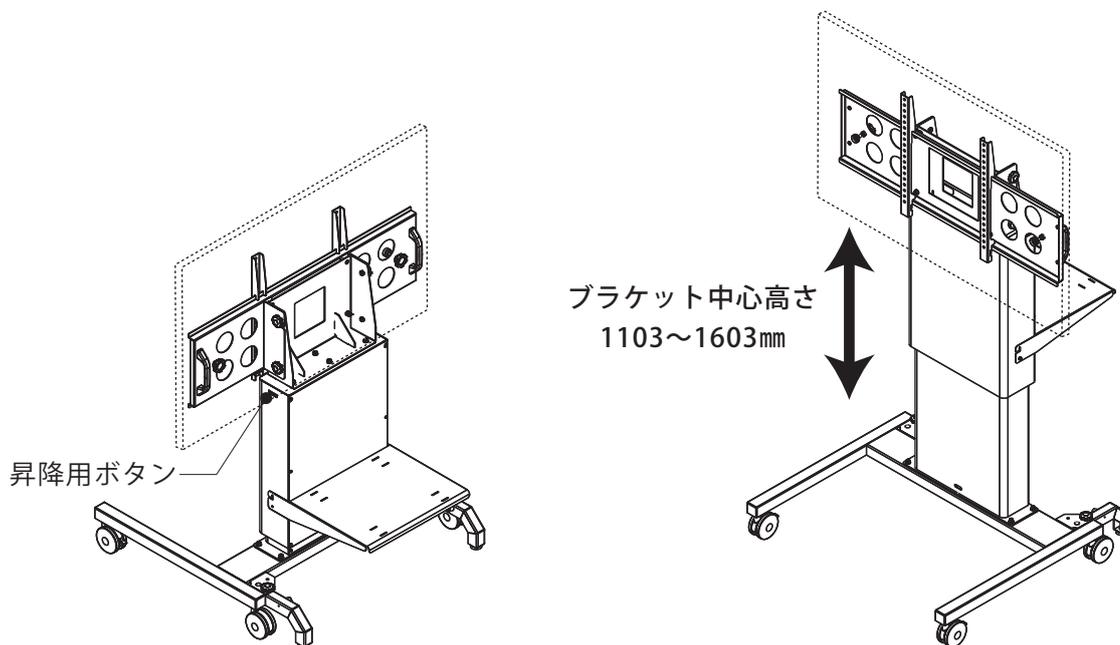
棚板の耐荷重は10kgです。10kg以上の負荷を掛けると、本製品や棚板上の物の落下などによる破損・けがの原因となります。



ボルトは確実に締め付けてください。棚板の落下などによる破損・けがの原因となります。

## ■ スタンドを昇降させる

1. 「支柱」背面の「電源ケーブル」をAC100Vの電源に接続してください。
2. 「支柱」の「昇降用ボタン」を操作することで、ディスプレイの高さを調整することができます。「△」は上方向、「▽」は下方向に、ボタンを押している間だけ昇降します。



電動昇降機能は長い時間連続して作動させないでください。連続して1分間昇降させた際は、9分間休止させてください。



ディスプレイが本体に干渉した状態での高さ調整は絶対におやめください。



高さ調整の際は周囲の人や物に気を付けて行ってください。事故・けがの原因となります。



本製品を移動させる際は、必ず高さを一番低くした状態で行ってください。



電源はAC100Vをご使用ください。

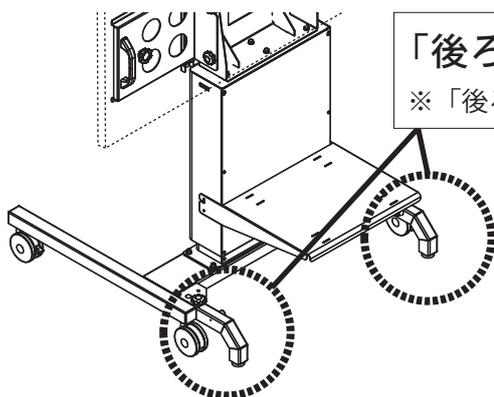


転倒防止のため「レッグ」の後ろ脚を広げた状態でスタンドを昇降させてください。後ろ脚を折りたたんだ状態で昇降すると、本製品の転倒などによる破損・けがの原因となります。

## ■ スタンドの設置について

「後ろ脚」の収納機能は移動時のための機能ですので、スタンドを設置する際は必ず「後ろ脚」を広げ、「後ろ脚」の「アジャスター」が床に接した状態で設置してください。

※「後ろ脚」の取扱方法は、P3『「レッグ」の後ろ脚を広げる』を参照してください。



転倒防止のため「レッグ」の後ろ脚を広げた状態でスタンドを設置してください。後ろ脚を折りたたんだ状態で設置すると、本製品の転倒などによる破損・けがの原因となります。